

令和8年度都立晴海総合高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「書くこと」の指導の充実	・4月当初の段階で、年間を見通した単元ごとの指導計画、評価項目、指導事項について教科内で確認、共有し、実践する。	・共通テストや大学入試過去問に採用された文章を参考に、目的や意図に応じて適切な文章が書けるような指導を継続的に行う。
地歴	視野を広げる指導の充実	・単元の学習内容を現代の諸問題や課題につなげられるよう、事例を紹介し、発問をする。 ・単元に関連した図書等を紹介する。	課題研究や総合型選抜における大学からの課題に対応し、学術論文等を参照させ、探究活動に助言する。
公民	視野を広げる指導の充実	・単元の学習内容を現代の諸問題や課題につなげられるよう、事例を紹介し、発問をする。 ・単元に関連した図書等を紹介する。	課題研究や総合型選抜における大学からの課題に対応し、学術論文等を参照させ、探究活動に助言する。
数学	・数学的な見方・考え方を身につけさせる指導の充実	・基礎・基本の習得の徹底 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施	・共通テストや大学入試問題を取り上げて深く考察する授業の実施
理科	科学的なものの見方・考え方を身につけさせる指導の充実	問題解決の過程において、科学的に考察する活動を重視した授業を実施	実験・観察等、課題研究を通じた活動や、入試問題等を通して深く考える授業を実施する。
保健体育	「見方・考え方」を働かせる学習過程の工夫	・体力テストで自己の能力を把握 ・体育祭で協働的な取り組みを実施 ・体育では各領域の特性に応じた技能を身につかせる授業、保健では社会生活との関わりを含めた健康・安全に関する内容を理解させる授業を実施	・3年体育は選択授業において生徒が指導の立案・実践・評価を実施 ・保健は、グループ学習において社会の新たな課題を発見・解決につなげる授業を実施
音楽	・感性を働かせる指導の充実 ・協働的活動の充実	・歌唱や器楽の活動を通して自分なりの感性を磨く。 ・グループ学習を通して協働性を育む。	・表現活動及び鑑賞において、磨いた感性を具体的に活用させる。 ・より高度な表現を求めてグループで工夫する態度を育む。
美術・工芸	独創性を養う指導の充実	作品制作における、発想力を重視し、具現化する技術の習得に取り組む。	得られた作品をポートフォリオとしてまとめ、自己の独創性をより総合型選抜等で説明できるようにする。
書道	書写技能の向上	書の伝統に基づき、効果的に表現するための基本的な技能を身につける	生涯にわたり書を愛好する心情を育み、感性を高める
英語	・コミュニケーションで必要な4技能指導の充実 ・デジタル端末の活用	・ペア学習やグループ学習などを通して、4技能を磨く。 ・デジタル端末を活用した英語学習に取り組む。	・身に付けた4技能の基本を応用に発展させる。 ・目標に応じて、自身で調整しながら学習に取り組めるようにさせる。
家庭	一人の生活者として、よりよい生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を育成する指導の充実	・各単元において、基礎・基本を重視し、知識・理解を深めさせるような取組を行う。 ・日々の生活課題に気づき、考えをまとめ、これからの生活について考えを深められるような取組を行う。	日常生活と結び付けて、生活課題をとらえ、主体的・対話的で深い学びとなるような取組を行う。
商業	経済活動や職業実務の場面で、主体的に考え、取り組む力の育成	・商業の学習活動を、自己のキャリアや日常生活と往還しながら考察する力や、各種検定試験合格に向けて志を持って最後まで学習に取り組む力を養う。	ビジネスに関する課題に対して事例を取り上げて考察や議論ができる主体性と専門性を身につける
情報	情報の科学的な見方、考え方の基本を身に付け、問題の発見・解決を行う学習活動の充実	各単元において「問題・課題」の把握から、情報の見方・考え方を利用してその解決策を考え、表現をする学習活動の実施	情報システム系列の系列選択科目や、自由選択科目において、発展的な内容を身に付け、様々な課題・問題を、情報システムや、情報デザイン等で解決、表現する力を身に付けさせる。